

こうや 清 県政レポート

かながわ民進党県議団

横浜市保土ヶ谷区版

(平成28年秋季号)

横浜市保土ヶ谷区西谷町 623

TEL 383-1290

FAX 383-1291

kohya.kiyoshi@gmail.com

www.kohya-kiyoshi.com

発行責任者： 高谷 憲

かながわ民進党県議団保土ヶ谷区版(平成28年秋季号・その2)

ともに生きる社会かながわ憲章

～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようのない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまで「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。

そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日

神奈川県

人にやさしい社会へ、障害者への差別偏見を県民総ぐるみで断固排除
県議会「津久井やまゆり園全面改築」でかながわ憲章！

第2回県議会（前半）閉幕

県議会は9月補正予算案などを採択して第2回県議会（前半）が10月14日閉幕し、現在昨年高谷県議が副委員長を務めた決算特別委員会で27年度決算の審査をしています。

ご承知のとおり、今年の夏、障害者支援施設「県立津久井やまゆり園」で目に焼き付いて離れない深い悲しみと憤りの事件が発生しました。

今回の補正予算案ではその津久井やまゆり園の全面改築のための約70億円が計上されました。

遺族や従業員、県内全ての福祉施設従事者からの要望を受けてのことです。議会として当然反対するものではありません。（この高谷県議も昨年の本会議壇上で強く訴えましたが）障害者への差別偏見を無くす強い決意を内外に示すべきだ！と厚生常任委員会（委員長、寺崎雄介、かながわ民進党・相模原市選出）を中心に「ともに生きる社会かながわ憲章」制定を条件に承認することにしました。

14日の本会議ではテレビ中継が入る中、満場一致で採択し、神奈川県の不退転の決意を宣言しました。

蓮舫代表 来る!

保土ヶ谷に



☆日 時 12月9日(金)

18:00より

☆会場 保土ヶ谷公会堂

入場無料

ご協力、ご賛同を頂いている党員の皆さんには先の民進党代表選挙で私は蓮舫さんを応援して頂くようお願いし、お陰さまで蓮舫さんが新代表に選出されました。

蓮舫さんと約束したように、議論ばかりしている頭でっかちの今までの民進党から地域で地に着いた活動をしている地方議員の声を聞き、頼りになる政党に生まれ変わって再度、国民の信頼を勝ち取るよう頑張ってもらいたい!

民進党神奈川第6区総支部は、蓮舫新代表から、これからの民進党の展望を皆様とともに聞く、時局講演会を開催することとなりました。

時節柄ご多忙の折とは存じますが、皆さまお誘い合わせの上、御参加下さいますよう心からお願い申し上げます。

県議会議員 こうや 清

“地域と行政を結ぶホットライン”に徹し、歩み続けた、こうや清の30年

(その4)

振り出しに戻り、再度県会へ挑戦!

県会から市会! 田中けいしゅう代議士のお墨付きをもらって登る山を変え、新たな希望に燃えて活動をしていると、田中代議士が「高谷! やっぱり県会でやってくれ!」と言い出したのです。当時、政界を騒がしたリクルート未公開株事件に巻き込まれていた田中代議士が自らの票の目減りを補うため、一方、横浜市への影響力確保を狙って自前の市会議員を作ろう! と擁立選挙区の選定作業に入っていた日本鋼管労組との思惑が一致し、「高谷を再度県会にさせるから」と私の全く関知しないところで双方の話がついていたのです。

「そりゃあ無いでしょう先生と」烈しく抵抗したものの、宮仕えの悲しさ、渋々同意をせざるを得ません。

生来陽転思考の私です。従来社会党支持の鋼管労組が民社党支持に転換した日本鋼管労組が、田中代議士の窮地

を救えるならば・・・

「高谷さんとは市会候補と一体となった事前の運動をする!」との組合幹部との約束があれば・・・私にとっても強力な援軍となる! 私も気持ちを切り替えて頑張り始めたのです。労組主体の選挙ではなく、形だけでも地域主体の選挙にしたい後援会を作りたいので後援会会長を推挙して欲しいとの要請に応じて、今までお世話になってきた少年野球の幹部を送り込みました。事務所も正規の事務所が見つかるまではと、自分の事務所を明け渡し、さらに市会候補の後援会入会勧誘作戦と一緒に「県会を高谷を」とローラー作戦をするとの話から田中代議士からもらっていた区内在住者の名簿も労組に預けました。鋼管労組と一体となった選挙だから後援会も一緒だ! と自分の欲もありましたが人が良過ぎると言われればそれまでですが、

ご 案

平成28年感謝の夕べ (忘年会)

○と き 12月4日(日)

18:00 開場

18:30 開演

○かいひ 7,000円

○会 場 ㈱イズミ産業2階

※豪華?景品の当たる大抽選会あり!

平成29年 新春初詣

○と き 1月22日(日)

○参拝地

古神道本宮 身曾岐神社

(山梨県小淵沢・ゆず神社)

※天気しだいで変更の場合あります

○募 集 45名

(定員になり次第メ切ります)

人が良いのが高谷の真骨頂・・・。

こうして一年有余、貸した名簿は中々返ってこない、事務所もそのままと若干の不安がよぎりながら県会・市会一体となった準備活動を終え、いよいよ選挙本番戦がスタートしました。選挙活動が始まりました。平成3年4月のことで

(以下、次号)